

日-星間における、ソーシャルビジネス研究ネットワークプロジェクト
活動報告書

政策・メディア研究科 修士1年 稲垣 円

【活動概要】

実施日程:2013年2月27日(水)~3月1日(金)

実施場所:シンガポール共和国

参加者:政策・メディア研究科 修士学生5名、教員1名

【スケジュール】

2月27日(水)

- National University of Singapore : Prof. Kevin Teo によるレクチャー "Social business in Singapore" およびディスカッション
- O'school 訪問 : Founder Mr. Kenny Low によるレクチャーとディスカッション

2月28日(木)

- Betr Barista 訪問: Founder Ms. Pamela Chng によるレクチャーとディスカッション
- Ikhlas Holdings Pte, Ltd 訪問: Founder Mr. Alfie Othman によるレクチャーとディスカッション
- SE Association 訪問: Staff Ms. Ami によるレクチャーとディスカッション
- HUB Singapore 訪問: レクチャーとディスカッション
- National University of Singapore Business Class の学生との交流: ソーシャルビジネスのプレゼンテーションおよびディスカッション

3月1日(金)

- Sustainable Living Lab 訪問: Mr. Swaminathan Veerappan によるレクチャーとディスカッション
- Gazaab Social Ventures Mr. Jamon Mok によるレクチャーとディスカッション

【活動報告】

当プロジェクトは、多民族・多文化が共生し且つ、政府の統制の下ビジネス先進国として世界的影響力を持つシンガポールにおいて、どのような社会的課題が存在するのか、さらに社会課題の解決をミッションとするソーシャルビジネスやベンチャーが、どのように生まれ事業を展開しているのか、ベストプラクティスの実施調査及び日本との比較などを行うことを目的とした。

シンガポールのソーシャルビジネスの現場は、良くも悪くも政府の意向が非常に強く反映されている。公的な保障制度がなく「自己責任」がつきまとうシンガポール社会において、スタンダードな道からドロップアウトした人・家族が再び元の道に戻ることは日本以上に難しい。今回の訪問先では、このような「社会的弱者」が再び社会参加できるよう支援することに使命感を持つ社会起業家に多く出会うことができた。

外から優秀な人材を入れることも可能だが、自国の限られた人材をいかに底上げできるか(劇的に上がらないまでも下がらないようにする)、「人材」の確保・教育が要とも言える同国には重要な課題といえる。政府が手をつけられない僅かな隙間を社会起業家がフォローすることができれば、世代を超えた「貧しさ」の連鎖を断ち切ることもできるだろう。

また別の視点として、最近までは「雇用」政策の一環として支援が主であったが、この2年くらいから雇用だけではなく、文化芸術への支援にも力を入れており、これまでの詰め込み式の教育だけではない多様な人材を生みたいという変化が起きているようだった。

今回のプロジェクトを通じて、日本では実感することが少ない「国家の理念」が強く根付く中で、国民が何を考え生活し、どのような社会やビジネスが作られてきたのか、そしてその狭間で生まれる小さく深い社会問題と必ずしも成熟した市場ではないが、その問題解決に取り組む社会起業家や研究者の熱意や現場を肌で感じる事ができた。

【訪問先一部紹介】



O' school 青少年更生を目的としたダンススクール

訪問日：2月27日（木）

マネジメント・ダイレクター、Kenny Low 氏のレクチャーと質疑応答、ダンスクラスの見学

O'school は、中高等学校課程からドロップアウトしてしまった青少年を対象に、本格的なダンスを通じて彼らをエンパワメントし、社会に復帰させる機会を提供している政府から認められたソーシャル・エンタープライズである。事前リサーチにおいては、O'school は、City college（私立の中高等学校機関）と提携することによってダンスというアプローチから中高等機関の役割を担っているという点に独自性があるとしていたが、実際のところ卒業資格ではなく一定のプログラムを修了することを示した修了書が与えられるということなので、中高等教育を肩代わりするものとは言い難いであろう。しかし、非行青少年たちへの波及効果は大きく今後の活躍が期待できる。また、収益事業の方法として、日本で行われている方式（入場料取る形でのダンスコンペティション）を取り入れて成功しているとのことで、とても興味深かった。



学校外でもダンス練習に励む生徒の様子



Ikhlas Holdings Pte Ltd ケータリングサービスを通じた就労支援

訪問日：2月28日（金）

設立者 Alfie Ohtman 氏による、レクチャーと質疑応答、施設見学、ランチ

設立当初は受刑者の更生と就業支援を目的として開始。しかし、展開する中で、ケータリングサービスに必要な Customer-Oriented（顧客第一主義）の視点から、ターゲットをシングルマザーや青年層のリスクテイク者へと変更している。社会的な弱者への就労支援としてのケータリングサービスであることは変わらないが、事業展開に合わせてターゲットを変更することは大きな決断だったに違いない。Social mission に固執せず、状況に応じて柔軟に変化させることは、一般的なビジネスでは当たり前でもあることだが、ソーシャルビジネスの分野ではなかなか難しいのではないだろうか。ビジネスと社会課題の解決のバランスについて学びが多かった。



調理場見学の様子